

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 佐藤 正道
 ガバナー補佐 網代 智明
 会長 石川 邦俊
 幹事 紺野 容樹

情熱 行動
 感動 共有
 地区重点目標
 1. DEI を取り入れた会員増強拡大
 2. よりインパクトのある奉仕事業の実践
 3. 活動の情報発信
 4. ネットワークの構築
 5. ポリオ撲滅

2022 - 2023 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 ジェニファー・ジョーンズ 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
 ウィンザー・ローズランドRC (カナダ・オンタリオ州)

通算

6月はロータリー親睦活動月間

第41回 [3113] 例会報告 令和5年(2023) 6月 8日(木)

出席委員会報告

会員総数	38名
出席会員	30名
欠席会員	8名
出席率	78.95%

◆開会点鐘 石川邦俊 会長

◆ロータリーソング [我等の生業] 小笠原尚史 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 高倉 怜 職業奉仕委員

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

🎵 今週の誕生日



6月8日 菅野 浩司 会員

6月12日 油井 明則 会員



..... lunch time

◆会長の時間



今日も例会出席、ありがとうございます。まずもって、本日新聞を賑やかしておりますが、千葉会員が次期法人会会長に就任されます。おめでとうございます。これからの活躍をご期待申し上げます。私は今日ジャンパーを着ておりますが、朝から会員の皆さんには、花ももの里の摘果作業をしていただきましてありがとうございます。普通の桃も芽かきと言って、芽が出た頃から手入れをしていますが、花が咲いたら摘花して、これは修正摘花と言いますが、枝に何粒生らせるかという手入れが三段階あります。今日の花ももの手入れは摘果ですが、全部実を落とすとして、また来年、きれいな花が咲くように木に、栄養分をなるべく持たせて、木の寿命を良くするというで行うのが摘果作業です。ですので、生産者の方が桃を作るのには、相当の手間がかかっているわけです。吾妻会員が全国ネットで放送されたそうですが、さくらんぼもその通り、手間がかかっております。さくらんぼは高いと思う人もいますが、それだけの手間がかかっていますので、味わって食べていただき、福島のフルーツを十分に楽しんでもらいたいと思います。今日は渡辺哲也会員のスピーチを行います。先日のゴルフに出席していただいた方、ありがとうございます。あの時も台風2号が来るということで、主催者は朝まで天候とにらめっこで、ああいうスポーツは大変だなと思います。雨が降ってもできますが、やはり面白くないですね。暑いけれども、天気の良い時に何でもやると良いと思います。大成功で終わったと思いますので、今日はその事もスピーチでお話しされるのではないかと考えております。期待したいと思います。

◆スマイリングBOX 伊堂里佳 小委員長 【合計80s】

伊堂 里佳 会員 20s 父の葬儀で大変お世話になりました。無事49日も終らせる事が出来、父も天国に旅立つ事ができました。ありがとうございました。
 渡辺 哲也 会員 5s 先日の哲也杯コンペの際は、石川会長をはじめ、多くの会員の皆様にご参加いただきました。お世話になりました。
 安斎 忠作 会員 5s 渡辺会員のスピーチ楽しみにしています。花桃の摘果、御苦勞様でした。
 吾妻 一夫 会員 5s 3回も欠席しましてすみません。楽しくあそんで来ました。
 大内 勝行 会員 5s 休みのおわび 渡辺哲也さんのスピーチ楽しみにしています。
 石川 邦俊 会員 3s 渡辺哲也杯ゴルフコンペご苦勞様でした。たのしかったです。又、今日はスピーチたのしみにしています。
 紺野 容樹 会員 3s 渡辺哲也会員のスピーチ楽しみにしてました。
 千葉 政行 会員 3s ・渡辺哲也県政報告会楽しみにしております。トップ当選を記念して！
 服部 裕一 会員 3s 渡辺哲也会員のスピーチ楽しみにしています。又、妻より“うつくしい”お花を戴きましてありがとうございます。
 佐藤 真也 会員 3s 花ももの里の摘果作業、皆様お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。渡辺哲也会員のスピーチ楽しみにしています。
 村上 裕司 会員 3s 渡辺哲也会員、スピーチ宜しくお願いします。生田目正志 会員 3s 渡辺哲也会員のスピーチ楽しみにしています。
 油井 明則 会員 3s 渡辺哲也さんのスピーチ楽しみにしています。齋藤 孝裕 会員 3s 渡辺会員のスピーチ楽しみにしております。
 鈴木 重忠 会員 3s 渡辺哲也さんのスピーチ楽しみにしています。西條 博之 会員 3s 渡辺会員のスピーチ楽しみにしています。
 佐藤喜一郎 会員 2s 前回欠席おわび 鈴木 牧子 会員 2s 渡辺哲也会員スピーチ楽しみにしています。
 白岩 裕和 会員 2s 渡辺哲也さんのスピーチ楽しみにしております。
 菅野 浩司 会員 1s 渡辺哲也会員のスピーチ楽しみにしております。よろしく願いいたします。

奉仕デー「花ももの里 摘果作業」 朝10時30分～ 会員15名参加



◆会員スピーチ

渡辺哲也 会員



本日は、こうした機会をいただきましてありがとうございます。落語の前振りを「枕」というのですが、私の尊敬する亡くなった人間国宝の柳家小三治師匠は「枕」の天才でした。話に入る前に、石川会長はじめ、温かいメッセージを数多くいただき、過分なる「枕」をいただいた上で、私の話をさせていただくことに感謝申し上げます。まずは、先日の私のコンペで石川会長、紺野幹事をはじめ、多くの皆さんに参加いただいたことを感謝申し上げます。ありがとうございます。会員スピーチで何を話そうかと思った時に、私の大好きな「岐路」という言葉が脳裏をよぎりました。自分自身が感じる岐路についてお話しをさせていただき、渡辺哲也という人間を少しでも皆様に知っていただきたく思います。

さて、私の人生を振り返る時に、自分の意思が及ばなかった岐路がありました。小学校3年生の時の自分です。当時はサッカーマンガ「キャプテン翼」の大全盛期で、私も4年生になったら、町唯一のサッカースポ少に入団しようと思っていました。ところが、父は80歳間際の今でも、還暦野球チームの部長をやるほどの野球狂いで、息子の意思など無視して、勝手にソフトボールスポーツ少年団に申し込んできました。それでソフトボールを始め、大学まで野球をやることになりました。24歳の夏に新聞記者として、福島商業高校が夏の甲子園に出場した際に、野球に詳しいという理由だけで、甲子園取材の先発隊を任せられ、ひと夏を甲子園で過ごすことができたことは、野球をやっていて良かったなと思いました。次の岐路は進学です。福島市内の県立高校を受験しますが、見事に不合格となり、学法福島の普通科に進学して、大学進学を目指す道を選択しました。日本史の勉強だけは人一倍勉強をして、全国模試で日本史だけの成績は福島県内で1番になったこともありました。高校の歴史の教員になりたいと思っていましたが、また岐路を迎え、結果として歴史学科のある大学は不合格となり、福島大学経済学部に進学しました。この選択の先には、同級生で富山県から唯一入学してきた女性と出会い、結婚したので、本当に大きな岐路だったと思います。次の岐路は、この流れで言えば当然就職です。私が大学4年生の時分は、超就職氷河期と言われていました。友達が苦しむ中で、就職活動は順調だったと言えます。就職活動開始直後に、大手通信会社から採用通知が届きました。これで就職活動終了ですということでは、現在の私につながってまいりません。当時、火曜サスペンス劇場の「地方記者 立花ようすけ」という水谷豊さん主演のドラマを放映していましたが、私は事件解決に魅力を感じたわけではなく、自分の知らない地域や、その土地の皆さんと出会い、郷土の料理や歴史に触れながら、それを活字にすること＝仕事という甘い考えの中で、その仕事に興味がありました。その思いは、将来、福島民友新聞の浪江支局長という形で実現するわけですが、就職活動の中で、地元の福島民友新聞、福島民報を受験しました。実は民報は編集記者職志望、民友新聞は営業職希望で受験しました。なぜそうしたか思い出せないのですが、どうにかこうにか、双方とも最終面接までたどり着きました。当時の木下隆さんという読売新聞の政治部長から民友の社長に就いた方が「君は面白い話をしすぎるから営業だと民友に迷惑になるかもしれない。記者の方が良いかもね」と言って、面接が終了したわけです。就職に関わる人生の岐路はこうして進む道が決まりました。今は新聞記者を辞めましたが、新聞記者にならず、別の会社に就職した方が良かったと思った事は一度もありません。今でも、自分の天職は新聞記者であり、その先に今の自分があると思っています。次の岐路は人事異動です。私は20年間の記者人生で、本社から伊藤俊憲会員の後任として、24歳で現在の相双支社、かつての原町支社に転勤となり、その後、隣の浪江支局の支局長として勤務しました。本当に伊藤さんと私にしかわからない苦労も多々経験しましたが、その後、大いなる糧になったと思っています。浪江支局長時代から東京電力第一原発の取材を担当し、その後の原発に携わる取材が最も長かったこともあって、震災原発事故の連載、取材、そして、思い余って、現在の政治の道につながってきます。民友新聞の記者としての歩みをおおざっぱにいうと、社会部、遊軍、県政という三つの部門を全て経験したことになりますが、専門性では県政が最も長く、次いで遊軍、社会部となります。政治を担当する県政記者は自分の担当する政党がそれぞれあります。それは自分で決められないことが常ですが、私は一度だけ選択したことがありました。私は今でこそ自由民主党ですが、31歳の時に県政に配属になった時に民主党担当になりました。当時、政権交代前夜であり、民主党が一番勢いに乗っている時でありました。年度替わりで県政のサブキャップの立場で残留が決まった時、当時のキャップから民主党に残るか、自民党に変わるか、どちらにするかと言われました。今振り返ると、この場面も大きな岐路であったかのように思います。それで、自民党の担当記者になることを選択しました。何故かと言えば、直感しかないのですが、あの場面で、東日本大震災が発生することも、まして、あの勢いに満ちた民主党がわずか数年で政権を失うことは予想できないわけです。しかも、自民党員でもなく、自民党の政策に共鳴するわけでもなく、あくまでも中立の記者の立場で判断しました。結果として、その時の選択が、その十数年後に訪れる自分の人生を左右する岐路につながっていくとは思いますが、その話はまた次の機会にお話しをしたいと思います。勝ち組につくことは楽だったと思いますが、どちらかと言えば、負け組の中で知恵を絞って、取材を重ねていくことが大切だと思いました。

民友新聞当時、浪江支局長の時に浪江ロータリークラブに入っていました。飯坂ロータリークラブに入った時に、その浪江ロータリークラブの時の国際ロータリーのIDをそのまま引き継ぐことができて嬉しく思います。そして、実は浪江ロータリークラブが、今日は年に一度の福島での夜間例会があります。私もメーキャップのお誘いがありまして、お邪魔してお話しをしてきます。ロータリアンとして繋いでいただいたご縁を感謝しながら、今回のこのスピーチに臨んでおりますし、今日も夜、もう一度スピーチに臨みます。ロータリアンとして、今日は一生忘れられない時間になりました。自分の事でたわいのない話でしたが、こうしてお話しをする機会をいただきました。本当にありがとうございます。ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘

会長

■2022-23年度第13回理事会開催

6月8日(木) 18:30~「遊乃里」

《内 容》①2022-23年度仮決算について ②退会会員承認について ③その他

■2023-24年度第1回理事会開催

《内 容》①例会曜日・例会場について ②会場設営について ③名誉会員の推戴について ④年会費について ⑤2023-24年度会費について ⑥地区・分区主なる年間行事について ⑦年間計画書作成について ⑧7月の例会プログラム ⑨その他

《出席者》石川邦俊、紺野容樹、斎藤孝裕、菅野浩司、安斎忠作、千葉政行、畠 隆章、服部裕一、村上裕司、生田目正志、佐藤真也、鈴木牧子、鈴木重忠、鈴木義明、渡辺賢司、渡辺達也、油井明則 以上の会員